

私のオススメ本

城西大学水田記念図書館 雑誌係 上村 岳之

私は子供のころから乗り物(特に鉄道)が好きで、よく鉄道関連の書籍を読むのが好きでした。今でも時間さえあれば模型を作ったり写真を撮ったりしています。

さて、今月(5月)の展示テーマが「旅と鉄道」ということで、何かお勧めの本があれば紹介して欲しいと頼まれたのは4月下旬頃で、図書館に所蔵してあるものの中で、鉄道愛好家に限らずほとんどの人が興味を持ちそうなものはないかと探していたところ、「これなら!」と思ったものが2冊ありましたので、この2冊を紹介致します。

● 「日本の鉄道 車窓絶景100選」

この本は日本を代表する乗りテツ(鉄道に乗ることが好きな人)4人が選んだ車窓100カ所を紹介した本です。定番スポットの他に、「こんな所があったのか!」と思うような穴場などが載っており、それらのスポットを表示した地図も付いています。

4人の乗りテツが100選を絞り込む中で出てくるスポットの中には、もしかすると「あ、行ったことがある!」という所や「今度ここ行ってみよう!」と思うような所もあるはず。この本を読んで「今年は車窓や絶景探訪でも行こうかな」などと旅行プランを立ててみるのはいかがでしょうか。

● 図解・鉄道の科学:安全・快適・省エネ運転のしくみ

みなさんが普段から通勤・通学・行楽等に利用している鉄道。利用している中で「どうしてこんなスムーズに動くのだろう」「今までの電車と比べれば快適になったなあ」「こんなに早くなって大丈夫なのか?」などと思ったことはないでしょうか。そんな疑問を解決してくれるのがこの本です。

例えば、鉄道車両の快適さの秘密(揺れにくさ、車内の静かさなど)、電車が走るための装置・施設(架線、パンタグラフ、モーター、スピード調節、ブレーキなど)の秘密、安全に運行する技術、鉄道が環境に優しいわけなど、鉄道に関する解説をわかりやすく説明しています。

中には難しい言葉や理論が出てきてよくわからないなあと思う所もありますが、「こんな本は難しそうでいやだな」などと思わず、軽い気持ちで読んでみてください。鉄道に乗るのが前よりも楽しくなると思います。

当館では上記の2冊の他にもさまざまな旅行・鉄道関連の資料を多数所蔵し、雑誌の特集記事にも旅・鉄道関係を取り上げたものがあります。

ちょっとした教養、旅行プランの作成、鉄道のことをもっと知りたいという時に是非とも読んでみてください。もちろんレポートの作成にも活用できます。

鉄道博物館の開館など、何かしら話題の多い鉄道。「ただの乗り物」としてではなく、少し見方を変えるだけでも面白い雑学になると思います。これらの書籍を読んで何気ない会話などに「旅」と「鉄道」を取り入れてみるのはいかがでしょうか。

